

第3編

基本計画



第1章 基本計画の位置づけ

1. 計画の役割

基本計画は、基本構想に定めた将来像及びその実現に向けたまちづくりの理念「流水文化 2011～粋を越えて知をつなぐ～」にのっとった5つの施策の大綱に基づき、それらを実現するための施策を体系的に示すものです。

2. 計画の期間

平成23年度（2011年度）から平成32年（2020年度）までの10年間を計画期間とします。ただし、社会経済情勢の変化や国・県の制度改革など、本町をとりまく状況に対応するため、おおむね5年を経過した時点で計画全体の見直しを行い、必要に応じて計画の修正を行います。また、毎年、実施計画の作成時には進捗状況や妥当性を確認し、必要に応じて変更を行います。



第1章 基本計画の位置づけ

3. 計画推進の基本方針

今後、人口減少、高齢化が本格化する社会環境の中で、基本構想に定めた「流水文化 2011～杣を越えて知をつなぐ～」に向けた取り組みを効率的に進めていくためには、基本構想で定めたそれぞれの「施策の大綱」に連なる分野別の施策を着実に推進していくことが必要です。また、それらの施策が分野の杣を越えて横の連携を図りながら戦略的な視点を持ち、行政の諸課題に的確に対応することが求められます。

計画を実効性のあるものとするため、諸施策の推進にあたっては行政各部門がそれぞれの検討・進捗状況を基にPDCAサイクルを実施し進めます。また、審議会などにより検証を行います。

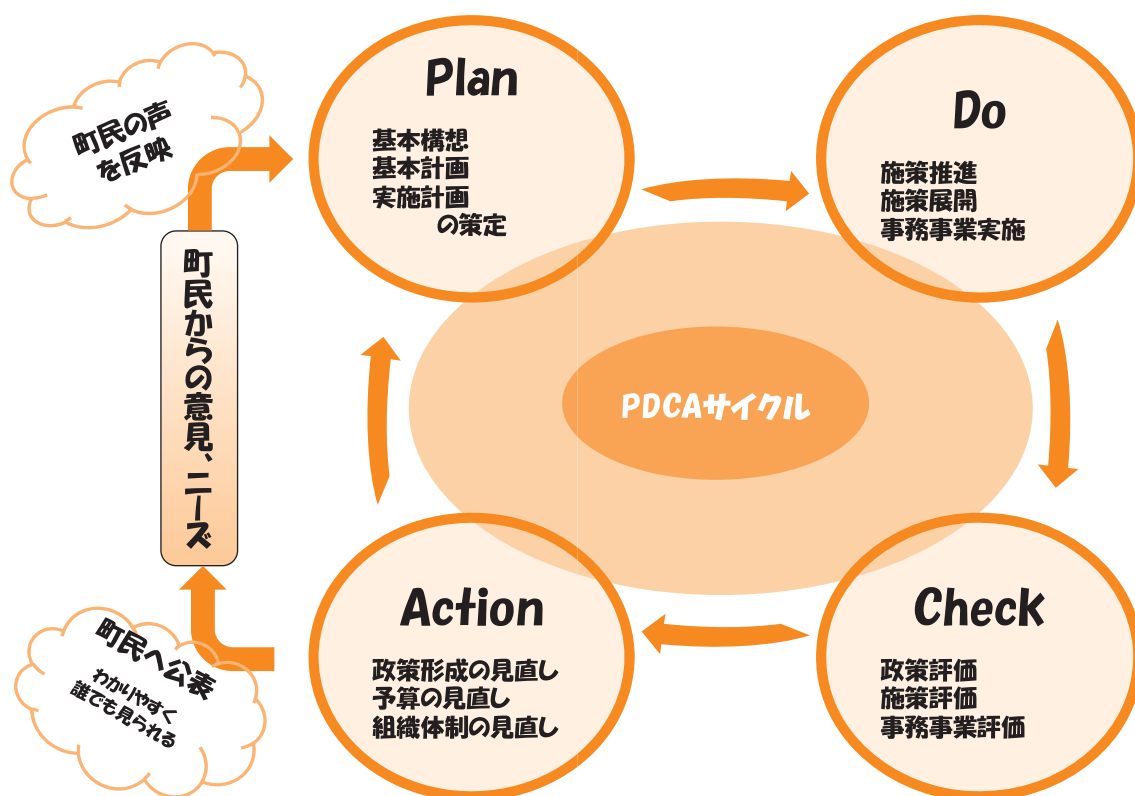


図 12. PDCA サイクルの仕組み

第2章 各論

1. 越知流保健・医療・福祉の充実

現状・課題

【強み】

- ・医療機関の充実
- ・福祉サービスへの町民満足度が高い
- ・健康づくりの機会への町民参加が意欲的

【弱み】

- ・人口減少
- ・出生者数の減少
- ・小人数世帯化
- ・個人所得の減少
- ・独居高齢者の増加
- ・老々介護の増加



基本施策

子育て支援の充実と

次世代育成

子どもを宝とし、地域全体で子育てに取り組み、見守る体制を整えます。

社会的弱者に対する

福祉サービスの充実

高齢者、障がいのある方、低所得者などの社会的弱者が困窮することなく、いきいきと生活を送ることができるための支援体制の強化を図ります。

生涯を通じた

健康(保健)づくり

高齢化が進む本町では、介護予防が特に必要とされています。また、すべての町民の健康を守るため健康診断や小児医療など、医療機関との連携を図ります。

第2章 各論

将来像

町民が子育てや老後に不安を感じない福祉充実の明るいまち

主な取り組み

(既存・継続)

育児相談・親子ふれあいサロン
子育て支援センターの開設
おもちゃ図書館の開設
子育て短期支援事業
妊婦健診の受診促進
小学6年生までの医療費無料
乳児・1歳6カ月児・3歳児健診
保幼小中の連携
学童保育実施

緊急通報装置設置事業
高齢者福祉電話設置事業
閉じこもり予防
生活管理指導員などの派遣事業
移動支援事業
福祉チケット(タクシー・ガソリン)制度
地域包括支援センターの開設

デイサービス・ミニデイサービス
あったかふれあいセンター事業
きたえん坊将軍(介護予防体操)の普及・交流会開催
健康相談・健康教育
訪問指導
総合健診の実施
保健福祉大会の開催

(新たな視点)

子育て支援センターの充実
おもちゃ図書館の活用充実
地域全体で子育てを支援する体制充実
中学3年生まで医療費無料拡大
2歳児健診
むし歯予防対策(フッ素洗口の推進)
学童保育の放課後子ども教室への移行検討

高齢者の生きがい対策
高齢者住宅の確保とバリアフリー対策の推進
障がいのある方の福祉的就労の場充実
高齢者家庭の有償見守り地域の拡大
災害時要援護者などの見守り活動
緊急ショートステイ床の確保
地域包括支援センターの機能強化
地域福祉計画の策定

医療機関との連携の充実
ウォーキングの普及
寝たきり、認知症予防対策
在宅医療、介護サービスの充実
情報提供と相談業務体制の充実
生活習慣病予防対策の充実
こころの健康づくり対策
タバコ対策(防煙対策)
健康増進計画の策定

2. 地域資源を活かした産業の振興

現状・課題

【強み】

- ・ 水量豊かな仁淀川
- ・ 町を囲む山々
- ・ 風土に適した薬草
- ・ 横倉山自然の森博物館
- ・ 観光物産館おち駅

【弱み】

- ・ 地域資源の活用不足
- ・ 産業の縮小
- ・ 生産者、事業者の高齢化
- ・ 後継者不足
- ・ 情報発信力が弱い



基本施策

農業の振興と活性化

山椒や薬草など新たな作物の栽培推進や、生産物の付加価値を創造すると同時に、後継者育成への支援を強化します。

商工業の振興と活性化

町内での消費促進による地産地消と同時に、地産外商を促進します。

観光の振興と活性化

町内の自然を活用した体験型・滞在型観光の振興のため、施設整備や観光客の受け入れ態勢の構築、情報発信の強化を行います。

林業の振興と活性化

製材としての出荷、加工品としての出荷、エネルギーとしての利用など、地元産木材の需要を拡大していきます。

第2章 各論

将来像

地域資源を活かした産業が根付き雇用の場が確保される活力あるまち

主な取り組み

(既存・継続)

農業近代化推進事業の活用
農業生産基盤の整備
新作物の導入
耕作放棄地対策
有害鳥獣対策

事業転換支援
経営改善事業の支援
各種イベント開催の支援

観光物産館おち駅オープン

観光データベース作成
体験型観光メニュー作成
観光受入体制づくり
観光協会ホームページ改善
地域紹介冊子作成
イベント開催

協働の森づくり事業の推進
間伐総合支援事業の実施
森林整備地域活動事業の支援
林道・作業道などの基盤整備

(新たな視点)

薬草の里 PR
アンテナショップへの出品支援
6次産業の推進

商店街のにぎやかさ創出
商店街空き店舗の活用
広域的イベントの開催支援
地元雇用の推進
起業家育成塾

緑のふるさと協力隊の配置
後継者の育成
地産地消の推進
地産外商の促進

自然を活用した体験型観光の推進
外国人観光客の招致
横倉山自然の森博物館の周辺整備

公共施設への木材利用
新たな商品開発の支援

3. 安心安全を守る社会基盤整備

現状・課題

【強み】

- ・ 24時間対応のヘリポート
- ・ 上下水道が整備されている
- ・ 集会所が整備されている
- ・ 道路網の整備率が高い
- ・ 小規模修繕へのスピード対応体制ができている

【弱み】

- ・ 山間集落の生活基盤の自主管理の限界
- ・ 山間集落の機能低下
- ・ 災害時の緊急対応体制が十分でない
- ・ 情報通信網の未整備地区がある
- ・ 道路網の維持管理が十分でない
- ・ 新規移住者が少ない



基本施策

消防・防災・救急体制の充実

南海地震に備えるとともに、日常の緊急事態に備え、道路網・情報網の整備や緊急体制の強化を行います。

生活基盤整備

住居、水道、買物などの生活に必要な設備を整備し、住みよいまちづくりを推進します。

山間集落の機能維持

町内でも特に過疎化・高齢化が進んでいる山間集落においても、その機能を維持し住みやすさの向上を図ります。

第2章 各論

将来像

事故や災害から町民の安全を守る生活基盤の整備された安心のまち

主な取り組み

(既存・継続)

ヘリポート整備
自主防災組織の育成
災害時要援護者の見守り体制の充実
消防施設の拡充
デジタル防災行政無線整備
他地域との広域連携
地域内コミュニティーの創出

インターネット環境の整備
作業班の配置
道路の日常的管理の実施
家庭ゴミの収集
合併浄化槽の普及
水道施設の整備
公営住宅新設検討
代替バスの運行費補助

移動スーパーの支援
水道設備（水源など）の整備
集落間連絡道の整備

(新たな視点)

南海地震対策
避難地・避難路の整備
自主防災組織の拡充
安心安全な道づくり
衛星通信を活用した総合防災システムの構築検討

上水道と簡易水道の統合
公営住宅新設
空家の再調査・活用
移住者の受け入れ体制の整備
効率的なバス運行方法の検討

飲料水の滅菌装置の設置
居住環境の整備支援
集落間の連携支援
休校施設の活用

4. 絆でつむぐ教育・文化の振興

現状・課題

【強み】

- ・あいさつ運動の励行による町民の絆づくり
- ・地域に根差した体験型学習
- ・スポーツ施設が整備されており、プロスポーツと触れ合う機会に恵まれている
- ・国際交流の場がある

【弱み】

- ・小中学校の学力の低下
- ・生涯学習に対する関心が低い
- ・伝統文化などの後継者不足
- ・児童生徒数の減少



基本施策

学校教育の内容充実

教育環境と内容の充実を軸に、学力の向上と地域に愛着を持ち、生きる力のある人材の育成を行います。

社会教育・生涯スポーツの振興

生きがい・体づくりができる社会教育・スポーツに、生涯を通して参加しやすい環境を整備します。

新たな地域文化の創造

伝統文化を継承しつつ、イベントなどのマンネリ化を防ぎ、さらなる町民の参加ができるよう、視野を広げた行事計画を行います。

国際交流・地域間交流の促進

国際・他地域との交流事業や交流体制の推進を図ります。

第2章 各論

将来像

地域の自然を教育や文化に活かした特色あるまち

主な取り組み

(既存・継続)

学力の向上 (学びの協同体)
教職員の指導力向上 (校内研修、視察研修など)
あたたかい学級づくり
保幼小中の連携
地域学習の実施

公民館活動の実施 (高齢者学級・環境講座など)
本の森図書館の充実
地域教育の推進 (学校・家庭・地域の連携行事、あいさつ運動など)
家庭教育 (母親教育など)
スポーツの振興
体育施設の整備

地域資源の PR
横倉山自然の森博物館の活用促進
イベントによる地域文化の活性化

外国語指導助手配置 (ALT)
国際交流員配置 (CIR)
韓国との交流
滝上町、北広島町芸北地区との交流

(新たな視点)

知・徳・体の調和を重視した取り組み
学校図書館の充実
食育の促進と基本的な生活習慣の確立
学校施設の整備
保育・幼稚園の窓口一元化を検討

地区公民館を生涯学習の場に活用
子ども読書活動の推進と図書館の整備
地域課題に関する学習
地域文化活動の担い手づくり
総合型地域スポーツクラブの活性化
高知ファイティングドッグスによるスポーツ振興

新規イベントの検討
町内・全国・世界に向けた PR 活動
ジオパーク認証の取り組み支援

外国語を学ぶ場の情報発信
外国語指導助手の活動の場拡大
外国人参加型のイベント開催

5. 協働促進と自然環境の保全・活用

現状・課題

【強み】

- ・ 地域活動の機会が多い
- ・ 地域活動への町民参加が意欲的
- ・ 集会所が整備されている
- ・ 豊かな自然が存在している
- ・ 不法投棄パトロールなどが町民によって行われている

【弱み】

- ・ 自主財源が少ない
- ・ 行政の動きが見えにくい



基本施策

行政サービスの充実

行政サービスを受けやすく信頼される町役場づくりを行い、社会状況に大きく左右されにくい町運営を目指します。

協働によるまちづくり

あらゆる団体や組織、個人との交流、連携の促進を進め、協働によるまちづくりを進め、地域の絆の強化と他地域との連携強化を進めます。

自然環境の保全・活用

豊かな自然を後世に受け継いでいくため、森林整備やゴミの減量化、自然の活用に取り組み、推進していきます。

第2章 各論

将来像

人と自然、地域が絆でつながり共存共栄の未来をつくるまち

主な取り組み

(既存・継続)

行政事務の効率化促進
町職員の人材育成充実
越知町ホームページの改善
財源の確保
行政改革の実施

高吾北地域連携の強化
広報誌の発行
地域活動への支援
地域支援事業

不法投棄パトロール
不法投棄ゴミ収集
協働の森づくり事業への生徒参加
意識啓発活動実施
公用車ハイブリッド化
清掃イベント開催
公共施設の自然エネルギー導入
黒森山の植樹
古道・旧街道の整備
ダム湖周辺の草刈り

(新たな視点)

PDCA サイクルの徹底
行政事務の共同処理の検討

仁淀川流域の連携
財政情報を分かりやすく公開
町と地域・団体の意見交換会
まちづくりへの町民参加
集落との連携強化

環境学習と併せた観光の実施
川遊びの普及
環境学習機会の創出
大学に学びの場として提供
仁淀川の美化・清掃
観光資源としての活用
ダム湖周辺を活用したイベント
多様な自然エネルギーの導入・拡大

